

こころや3周年記念セール



皆様に支えられて3周年

11月8日、こころや3周年記念セールが行われ、来店者数400人以上と大変な賑わいとなりました。なごみの家のコロッケ実演販売、手打ちそば、焼き芋などの出店やバザーや豚汁の無料配布を行いました。こうして3周年を迎えられた事は、地域の皆様、生産者、ボランティアの方々、そして多くのお客様のお陰と感謝しております。

夢と希望を抱きながらオープンしたこころや。障害と向き合いながら、働くことの喜びや大切さなど、たくさんの計り知れない思いが関係者の一人一人の中につまっています。

障害を持つ方達が働く店だからこそ、多くの協力と理解が必要です。私もこころやに携わる者として、ますますの発展を願い、これからも全力で皆様と共に頑張りたいと思います。

最後に、三重苦の障害を乗り越えたヘレンケラーの言葉を紹介します。「人生で最も楽しいことは何か。それは、困難を克服することです。忍耐と根気が最後は勝つのです。」(チャチャミー)



弦楽四重奏で、優雅なひと時を感じることができました。

寄付・寄贈をいただいた方 (敬称省略・順不同)

塚越幸子 石下恭子 熊田芳江



■ 会員募集のお知らせ

NPO法人こころんは、ご支援くださる会員を募集しております。

《正会員》 年間 1口 3,000円 《団体会員》 年間 1口 5,000円
 《賛助会員》 年間 1口 1,000円

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします

お知らせ

活動報告	今後の予定	編集後記
9月2日 白川地区家族教室 9月15日 就業セミナー「農業体験」 9月18日 道路清掃 9月19日 白河地区家族教室 9月19~23日 こころやお彼岸セール 9月27日 稲刈りと音あそび交流会 9月29日 レクレーション「マイクを離さない」 10月26日 バーベキュー 10月27日 就業セミナー「演習：職場での対応」 11月8日 こころや3周年記念セール 11月17日 就業セミナー「職場見学」 11月20日 道路清掃	11月24日 新そばまつり at こころん 11月28・29日 こころんチャリティアート展 12月15日 クリスマス会 12月17日 にこにこ屋2周年 12月21日 こころや生産者会議 H22年1月6日 こころや初売り	…早いもので、こころん、3周年を迎えました。開店当初は商品が少なく、店内も閑散としていたこころや。今は、にこにこや、外販と売場も増え、こころーや馒头など、こころや独自に開発した商品も人気です。5年後、10年後のこころやも、地域の皆様に愛される店でありたいと願っています。2009年も残りわずか。こころんで初めてオリジナル卓上カレンダーを作りました。アート展でも販売します。ぜひこころんカレンダーで、2010年の予定をご計画ください。(植木)



こころん通信

第20号

平成21年11月発行
 発行者：NPO法人こころん
 (生活支援センターこころん)
 〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字下根岸9
 TEL:0248-54-1115 FAX:0248-53-3063
 MAIL:kokoron@r2.dion.ne.jp
 ホームページ http://www.cocoron.or.jp



おかげさまでこころやは3周年を迎えました

直売・カフェ こころや 3周年 記念特集



直売・カフェこころや3周年を迎えて

障害を持っていても「働きたい」という願いは皆同じです。生活支援センターこころんが開所して2年目の平成18年10月、障害者自立支援法が施行され、私たちは新たな選択を迫られました。次の目標として働く場を作りたいと願っていたので、就労支援事業を行うことにしました。「この地域でできることは」と考えた時、人口6,700人の泉崎村は農業が中心で、こころんの目の前には美しい田園風景があるだけです。農業の技術を持たない私たちにできることは、農家と連携した直売所の運営ならできようと考えました。

こころやは、地域の農産物や特産品を販売する直売所とカフェからなります。お店で販売される野菜は、一部集荷に行くところもありますが、開店前に地元の農家が直接朝取りの野菜を持ち込みます。カフェは、お店で販売される野菜や調味料を使ったランチ、手作りケーキセットやコーヒーなどメニューも充実し、大変評判が良く、テレビや新聞等でも紹介されました。ログハウス風の店内は、ゆったりとした雰囲気、利用者とお話を楽しむために毎日訪れる常連客もいます。

こころやは地域の中に“当たり前”に存在し、多くの方々に利用されています。「こころや」のこだわりとして、次のことを大切にしています。

1. 安心・安全・新鮮・おいしい。2. できる限り添加物は使わない。3. 生産者の顔が見える。4. つながりがあり信頼できる商品だけを取り扱う。5. その日のうちに消費できるものを中心に。

利用者に支払われる賃金は時給300円~500円です。しかし自立支援法施行当初は、利用料が月1万円にもなり、一生懸命働いても手元に残らない人がいるような状況でした。

しかし現在は利用料も軽減され手取り8万円を超える方もいます。病院や施設で暮らしていた人たちが、こうした支援を受けながら、地域で生活することにより、症状が改善し、安定して生活することができます。働くことで生きることが楽しくなります。あまりにもシンプルなことですが、こうした「あたりまえ」を支援することがこころんの目的です。そのためには何が必要なのか、どうすればよいのか、その人の環境や地域性を考慮して考えていくことがこころんの役割と考えています。

施設長 熊田芳江

■ 目次 ■ こころや3周年記念特集

P1…3周年を迎えて

P2・3…こころやは私たちの職場です

P4…3周年セール報告/行事予定



こころやは、私たちの職場です

自立支援法施行に伴い、こころんがどのような形でこころんも新体系に移行するか、ワークショップなどを通し検討を続けていました。
そして、多機能型事業所(移行支援・継続支援)として、直売・カフェこころやがオープンしました。



外壁も未完成のまま開店
地域の小学生の太鼓演奏で
開店をお祝いしました、



10月13日、生活支援センターこころんで、「こころやオープン式典」を開催しました。これから、こころやで働く仲間が集まり、関係者の前でスピーチいたしました。
参加したメンバーは皆、期待と不安がありました。
まだ内装工事を残した10月14日・15日、「こころやプレオープン」として地域の皆様にお披露目しました。工事が終了した10月21日(土)に無事開店となりました。本格的な運営となり、メンバーも緊張しながら、生産者対応、接客、レジ、カフェとフル稼働となりました。(栄一)

市街地の空洞化が進む白河市駅前に活気を取り戻そうと、本町にチャレンジショップ「にこにこ屋」が開店しました。毎週木曜日にこころやも出店。採れたての野菜・果物、加工品等を販売しています。市内の方々にも喜ばれ、木曜日のにこにこ屋はお客様で溢れるほどです。今年12月17日には、二周年感謝セールを開催します



私は1年前からにこにこ屋で働き始めました。にこにこ屋の働くみんなは、『声かけを大切にしている。』と感じています。
私はせっかちで、次々お客様の接客をしていると仕事のあとには、『お客様一人一人を大切にゆっくり声かけしながら対応していきましょう。』という反省が出て来ます。
これからも「他の店には無い！にこにこ屋にしかない！」何かをもっと出して行きたいと思っています。
品物(商品)もとてもいい物です。それなら私たち店員は接客をもっと磨くべきです。自信の持てる良い物を私達は自信を持ってすすめていきたいです。これからもにこにこ屋をぜひ宜しくお願いします。(ポール)



こころやのあゆみ

- 平成18年4月 障がい者自立支援法施行
- 平成18年10月 直売・カフェ こころや開店
- 平成18年12月 車での移動販売を開始
- 平成19年7月 「ふるさと恵の店」に登録
- 平成19年12月 チャレンジショップ「にこにこ屋」開店
- 平成21年 7月 こころやりニューアル

開始当初は、泉崎・白河の官公庁への訪問販売でした。主にカフェで作った菓子・パン・それから漬物・味噌などでした。

現在は毎週金曜日、泉崎・白河方面を1日かけて回っています。朝採りの野菜・果物等もお持ちできるようになりました。



僕は外販担当になってから3年がたちます。売上げに良い結果を残す為に頑張っています。主に僕は袋詰めその他のおつりの受け渡しや次回の注文品を確認したり、コンテナの出し入れをしたりしています。

最初外販を任された時は、不安と緊張な所がありました。しかしやってみて、いつも買ってくれる常連さんや初めて来てくださったお客様が自分の顔をお覚えてくれて、毎週自分の担当の時に気がるに挨拶をしてくださいます。これからも外販専門のプロになる為に、頑張りたいと思います。(佑弥)



こころやで働くようになって二年ほどになります。最初は自分のできる仕事はあるのかと不安になりました。うまくいかないことも多かったのですが、まわりのスタッフさん利用者の方が何回も教えてくれ、少しずつではありましたが仕事にもなれていきました。

今私が主に担当しているのは、バーコードラベルの打ち出しと週一回の外販です。ラベルは、最初こころやに来た時より生産者の方も増え、やりがいがあります。外販は、持っていった品物が売れるとうれしいですがなにより行くのを待っていてくれる方がいるというのがいちばんうれしいです。

まだまだうまくいかない時もありますが、自分なりにがんばっていきたくです。今いちばん思っていることは、新しいメンバーが来た時私がみなさんにしていただいたように仕事を教えてあげたいです。(緑川克也)



私は今年6月からこころやで本格的に働くことになりました。はじめは、不安と緊張で「ちゃんと仕事をこなせるか」という思いでいっぱいでした。でも、いざ仕事してみると、スタッフや先輩たちはとても優しく、親切に仕事を一から教えてくれて、今は安心して働くことができています。

私は完璧主義な面があり、無理をして疲れてしまうことがあります。今、担当している仕事は食器洗い、調理補助です。これ以外にも色々な仕事を教えいもらっている中、一番楽しいと感じたのは屋外での作業、「生ゴミを捨てる専用の穴掘り」です。
これからは、いろいろなことを学び、新たな自分を発見し、どんな仕事にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。今はまだ周りの人達と同じように仕事はこなせませんが、自分なりに頑張っていきたいと思っています。(Y)



今、立ち止まって3年を振り返ると、やっぱり山も谷もあって、イージーにたどりついたわけではありません。

まず、こころやで働くにあたり、こころんに慣れるために須賀川から自転車と電車を乗りついて通ったことを思い出します。

こころやに勤めた当時、クリスマスシーズンだったため、ケーキ作り、そしてヴァレンタインギフトを用意しました、その後こころんのとりにできたグループホームに入居し、徐々に勤務時間を増やし、現在は1日6時間週4日働いています。

今、カフェでは黒糖饅頭、月見饅頭、酒蒸し饅頭などの和菓子作りを力を入れています。これからもスタッフや他のメンバーと協力しながら、こまめに手をかけ、充実した仕事を心掛けたいと思います。(Micky)

お客さまの声



直売 手ごろで新鮮なものが多い。
働いているみなさんの元気な姿を見るのが楽しみ。
障害をもつ方の支援にもなるので、店を利用しています。
みなさんの心遣いも充分にあり、買物が楽しみ。
季節の品の入荷予想が表示されると助かります。
珍しい野菜もあるので、調理の仕方を教えてもらいたい。



カフェ 落ち着いてほっとした気持ちで食事ができます。
品が良く、味付けもちょうどいい。
子供や女性向けの少量のメニューがあるといいです。
カレーの野菜がおいしい！パルフェもお気に入り。

(こころや来店客対象アンケートより抜粋)



僕は二年弱くらいこころやで働いています。一番の変化は行動的、活発になってきたことです。例えば、無理をしてスーパーの惣菜のアルバイトに面接に行ったり、専門学校の無料の冊子を取り寄せてみたり。自分なりにお金の面や、将来の職について考えて、もがいてもがき続けていました。よきにしろあしきにしろ、一番の収穫は行動です。

「行動しなければ、始まらない」これが僕の座右の銘になるほどです。
僕にとってこころやは、人生の実験場です。実験場というのは、職場での人間関係や商売のノウハウ・お客様の心理を身に着ける絶好の場所だと考えているということです。

将来僕は、自営業で生活していきたいと思っています。会計士の知識を習得して、それを機軸に社会に貢献できる商売をしたいと思っています。

僕にとって、必ず、こころやでの経験が活かされる時が来ます。なんとなくそう思うわけではありません。まさに今、実際にそれを体験しつつあります。最初は、これが将来に繋がるのかと、疑問に思っていた時期もありました。しかし、僕の場合は絶対につながります。というよりはつなげる方法を見つけました。内容は秘密です。商売の核となりますから。(tks)

こころやも開店3周年、11月8日に「こころやオープン3周年記念感謝セール」を開催することができました。

こころや立ち上げ当初から関わったスタッフと利用者の皆さんの年輪が日々ふくらんできていることを嬉しく思います。

直売・カフェこころやの名も県内ばかりでなく、県外からのお客様も増加してきております。嬉しいことです。

これからのこころやでは、今後とも利用者の皆さんが主体的に、そして自主的に就労できる場として、そしてお客様に愛される直売所として成長していければと考えております。



店長 田邊 実